

第8期ぎふ政治塾 第6回講座

第2部講義

「選挙最新事情 あと一票 を聞いて」

今回の三浦先生のお話しは、政治家を目指す者にとっては避けることのできない、選挙に関する最新事情など非常に為になるものであった。

冒頭、政治家はもっと自分のまちのPR、お国自慢をした方が良いと言われ、米国の政治家のようにまちを売り込んでいく必要がある、そうすることで、地域資源が掘り起こされ、まちが活性化し、まちの資産価値が上がる、と発言されたが、地方創生が叫ばれる昨今においてまさに正鵠を得ていると感じた。

次に、選挙に関するお話しの中なかで特に参考になった項目を箇条書きにて列記したい。

- ・農林水産業についてはなおざりにせず、公約の1つの入れることで高齢者が安心する、お年寄りを大事にし、お年寄りが夢と希望を持てるようにすること。
- ・陣営からの名簿を使った電話での投票依頼はほとんど効果がない、本人からの電話が効果ある、1日40件程度はできるのでその労を惜しまないこと。
- ・公開討論会は、どの候補者が相応しいか、有権者が判断する場であるので、正論を理路整然と述べるのではなく、候補者の人となりや人柄を上手く伝え、候補者の好感度をいかに上げるか、嫌悪度をいかに下げたかを考えること。
- ・期日前投票を行っている場所を確認しておくこと、有権者が投票先を決めた時点、本日もいまここですぐに投票に行ってもらおうこと。
- ・握手は相手の心臓の高さで、ビラは空いている手に差し出すこと。なおかつ、名刺型のビラにすると捨てられない。
- ・ウグイス嬢の1人はベテランの女性で、他は若い男女、特に学生がよい。
- ・SNSは無視すべきではない、陣営にネットに詳しい人を配すること。Twitterは必要なし、Facebookはやっておいた方がよい、オフィシャルサイトは告示後毎日更新すること。

三浦先生のお話をお伺いして、今後、次の三点について、より意識して取り組んでいこうを思う。

1つ目は、町の行事やイベント、各種のボランティア活動に積極的に参加し、自らの知名度・認知度を上げていきたい。

2つ目は、これまでの地域におけるつながりを大切にするとともに、選挙は情、票は情であり、普段から敷居を低く、胸襟を開いて、ラッキー&キュートを意識して、自分の身の回りの方々とお付き合いしていきたい。

3つ目は、近隣の首長、県議会議員のオフィシャルサイトに掲載されている政策や公明党のHPに掲げられている、障がい者や生活困窮者など弱い立場の方への政策を参考にして、自らの政策を固めていきたい。

三浦先生は、これまでもぎふ政治塾において度々登壇され、同様のお話をなさっていることから以前お話しされた部分は省かれて講義されたが、先生のお話を初めて聞く自分のような者にとっては、選挙の根幹に関する事柄についてはやはり触れていただきたかった。次回への要望としてお聞き願えれば幸いです。

以上